

平成29年度学校評価実施計画

学校名 大分県立大分豊府高等学校

前年度評価結果の概要	<p>1 世界標準の学力向上</p> <p>①高3進学状況: 難関・最難関大学26名、国公立大学170名合格。とりわけ思考力・判断力・表現力を問われる形式のAO入試や一般推薦では40名(合格率45%)が合格。</p> <p>②授業改善: 2ヶ月に1回の校内授業研究会の実施や外部講師を招聘しての研修会の開催により、校内全体で言語活動を意識した授業の推進やICTの活用が当初の計画以上に達成できている。 → 継続した授業改善研究を行い、中での授業研究会の推進や評価問題の開発が必要。</p> <p>2 世界標準の人間力向上</p> <p>①生徒会が中心となって各種行事を運営している。全校集会時、集団の規模が大きいため教師の指導が中心となっていたが、生徒会が主導するようになった。</p> <p>②学校生活アンケートにより生徒の状況把握が進み、学校生活に課題のある生徒等の早期発見・早期対応ができるようになった。重篤ないじめ事案はない。</p> <p>3 業務の精選、効率化・平準化</p> <p>①運営委員会見直しによる中高別及び中高合同の企画会議で、ミドルリーダーを中心に中高一貫教育の課題や次年度の重点的な取組計画ができています。更なる中高の連携が重要。</p> <p>②いくつかの領域ではモデルアップダウン体制が定着しつつあるが、領域主任が職員に回さず自分で仕事を抱え込む場合がある。</p> <p>③ICT活用は計画を上回って達成。OENシステム活用・統合ファイルサーバの再構築が完了。今年度より効果的な活用(文書の共有・活用等)ができてきた。</p>
------------	--

学校教育目標	中期目標	重点目標(H29年度)
創造的な知性と豊かな人間性、逞しさを備え、高い志を持って国際社会でリーダーとして活躍できる人材を育てる。	<p>1 中高一貫教育の特色を活かして中学・高校の全教職員が協働して、6年間・3年間で生徒を育成する教育指導システムを確立する</p> <p>(1) 中高一貫教育の特色を活かした世界標準の学力を育成する指導システムの確立 (中高一貫した教科指導、思考力・判断力・表現力を育成する授業実践、生徒が自主的に学ぶシステム構築)</p> <p>(2) 中高一貫教育の特色を活かした世界標準の人間力を育成する教育システムの確立 (生徒の自己・他者理解を深め、広い視野で物事を判断できる資質を育成する特別活動や人権教育等)</p> <p>(3) 生きる力を育む進路指導システムの体系化、夢を叶える進学力を向上させる組織的対応システムの確立(中高一貫した進路指導体制、海外の生徒との交流、系コース選択指導の充実)</p> <p>(4) 安心して学べる環境づくり、信頼される学校づくりの推進(危機管理マニュアルの一層の充実、いじめ・不登校・特別な支援を要する生徒への支援システム構築)</p> <p>2 中高一貫教育の特色を活かして中学・高校の全教職員が協働し、正確・迅速・効率的に業務を遂行できる学校経営体制を確立する (中高協働した業務システム構築、統合FS・OENシステムの活用)</p>	<p>1 中高一貫教育の特色を活かした世界標準の学力向上</p> <p>2 中高一貫教育の特色を活かした世界標準の人間力向上</p> <p>3 業務の精選、効率化・平準化</p>

PL: プロジェクトリーダー、SL: サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
1 中高一貫教育の特色を活かした世界標準の学力向上(授業改善)	生徒の授業満足度85%以上(生徒授業アンケート) JETテストで評価4以上(5段階)の生徒割合が60%以上	育成を目指す資質・能力を踏まえた教科・科目の目標や指導内容の見直し 主体的・対話的で深い学びの視点から、学習過程の改善	生徒授業アンケート年3回実施	教科統括 教科
	※JETテストとは、Judgement(判断力)+Expression(表現力)+ability to Think(思考力)と表し、思考力・判断力・表現力に特化したものや合教科的なテストである	評価規準(ルーブリック等)見直し、観点別評価の見直し	中高合同でJETテスト(2回)の開発 評価規準に基づく観点別評価システムの継続的な改善(毎学期実施)	教科統括 教務
	「授業に自ら参加」「授業で自ら考える」生徒80%割以上(言語活動等生徒アンケート)	言語活動の充実・アクティブラーニング型授業の実践(幅広い学力層に応じた授業および課題等を連動させた指導体制確立)	全教科において効果的に言語活動を取り入れた授業の実施 2月に1回程度の中高合同授業研究会、授業改善研修会を2回実施	教科統括 教務
2 中高一貫教育の特色を活かした世界標準の人間力向上	安心して学校生活が送れていると回答する割合80%以上(学校生活アンケート)	学校生活アンケート等による早期発見・早期対応	いじめ調査年2回、学校生活アンケート年3回実施	生徒指導 学年
		あったかハート123(県指定)の完全実施	3日連続欠席生徒の支援カード作成、情報共有	生徒指導(相談) 学年
		計画的・継続的な個人面談の実施	年3回、全校一斉に個人面談を実施する面談旬間を設定・実施 あわせてこの時間を自学タイムとし、自学力を向上させる	進路 学年
		清掃時間にすぐに始め、清掃活動の徹底	毎日、掃除区域で清掃を指導	生徒指導 学年
3 業務の精選、効率化・平準化	「中高の連携ができています」職員80%以上(職員アンケート)	中高別企画会議、中高合同企画会議の役割の明確化と活用	原則としてそれぞれ月1回実施	管理職 企画運営委員会
		領域制度の徹底(領域主任による進行管理、係長による企画運営)	年度初めに分掌経営計画・分掌業務計画作成、学期毎に自己評価	管理職 企画運営委員会
	「業務が効率的に遂行されている」職員80%以上(職員アンケート)	ICT活用力の向上(統合ファイルサーバ活用、Webアンケート・OEN活用、e-office利用徹底)	統合ファイルサーバ内文書等の活用推進 紙ベースアンケート0、OENメール・ドライブ・e-office毎日確認の徹底	教務(情報) 教頭